

進路だより

福井大学教育学部附属特別支援学校 進路指導部

今年度の進路だより（第1号）ができあがりました。今回は、進路に関する行事・活動、進路に関する願いアンケートのまとめ、オンラインで行った「先輩を訪ねて」の様子などについてお伝えします。今年度も進路だよりが、保護者のみなさんに「知りたい情報」をお伝えできる機会になればと思います。

今年度の進路に関する行事・活動



お子さまの進路について、本人・保護者と学校が共に考えていくために、進路に関する様々な行事・活動を計画しました。今後の社会情勢等で、変更もあります。御理解、御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

月	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
4	進路指導についての説明12日（各学部）、本人・保護者の願いアンケート 進路指導説明会28日（ZOOM）、個別教育相談21日、22日						
						進路相談希望調査（高等部1,2年生）	現場実習先最終確認調査
5	進路相談（高等部1,2年生） 5月6日～6月2日						
	卒業生の進路先訪問ZOOM事前取材（20日）						
6	現場実習壮行会（全校集会で紹介）					春の現場実習2週間 （14日～25日）	
7	高等部体験（延期）						
	個別教育相談（中学部2、3年生進路相談会）（7日～8日）						
夏季休業中	事業所見学会：7月26日～28日 福井圏域・坂井圏域（小6、中1、高1保護者に限定して実施）						
	事業所見学、ミニ体験			夏季休業中の事業所見学・体験実習			
							求職登録（一般就労、就労継続支援A型希望者）
9					実習先希望調査・決定 実習関係書類の提出		
10	校外学習 （現場実習先見学）	現場実習先見学 （二コース別に分散して実施）			職業ガイダンス（13日か14日の予定） （高等部生活1班の生徒・中高保護者） 個別教育相談（13日～14日） ☆現場実習3週間（10月25日～11月12日） 高等部1年生は学校実習1週間、現場実習2週間		
	現場実習報告会（二コース別に分散し実施）						
						労働局・ハローワーク実習（希望者）	面接、履歴書作成等（一般就労、就労継続支援A型就労内定者）
12	事業所体験実習 11月29日～12月17日 （授業日に分散して実施） 中学部事業所体験実習報告会						福祉サービス利用内定者自立支援給付手続き（区分認定調査・相談支援専門員との話し合い、申請）
	個別教育相談（8日～9日）						
1	進路に関する学習会（22日）保護者対象						
	中学部体験						

2	高等部体験	サービス調整会議・移行支援会議（一般就労内定者）
	個別教育相談（24日、25日） 高2進路相談（24日～28日） ※高等部高等部2年生は次年度の春の現場実習先を決定する。就労アセスメントが必要な生徒は、春の実習までに福祉サービス利用手続き（相談支援専門員を決める、移行支援事業所と契約する）を行う。	
3		事業所利用手続き（福祉サービス利用内定者）雇用契約手続き（一般就労内定者）

★夏季休業中の事業所体験・現場実習について

高等部は数日の体験実習を行い、その中から秋の現場実習先を決定します。受け入れ先の事業所には、学校より体験実習の依頼を行います。中学部は、11月29日～12月17日にかけて実施予定です。

★進路学習会について

学習会では、様々な制度や福祉サービスなどについて学んだり、卒業した先輩・保護者との話し合いを行ったりすることで、現在及び卒業後の生活を考える機会とします。

★高等部の現場実習について

10月に高等部全員が現場実習を行います。期間については、高2,3生は3週間、高1生は2週間の予定です。また、中学部が現場実習先見学会を行う予定をしています。

★相談支援専門員とのケース会議について

福祉サービスを利用する場合、相談支援事業所が計画相談を行うことになっています。卒業時には、相談支援事業所が行うサービス調整会議に学校も対応していきます。但し、さらに具体的な支援について話し合う必要がある場合は、個に応じてケース会議を学校で開き、現在の生活の充実及び卒業後への移行を共に考えていきます。



進路に関するアンケートQ&A

●今年度の本人・保護者の願いアンケートからいただいた保護者の声についてできる限りお答えします！

Q：現状から何をどうしたら向上するのが分からないので、将来の具体的な進路先がイメージできない。



A：先の見通しが持てないのは、確かに不安ですね。しかし、あせらず今を大切にしながらじっくり考えていけると良いと思います。授業の中で、体験実習の中でなど、様々な仕事や活動経験の中で、本人が好きな物、得意な物を見付けたりしていきながら、それを足掛かりにゆっくりじっくり力を付けていけば良いと思います。そして本人にとって適切な進路先を、親御さんはもちろん、本人と関わる支援者全員で知恵を出し合いながら見付けていけると良いと思います。
就労以外にも、生活介護、自立訓練、日中一時、地域生活支援事業等様々な日中活動の場があります。「本人が生き生きと過ごせる場所はどこか？」を共にゆっくり考えていきましょう。

Q：・一般就労と福祉的就労の違いについて。 ・A型、B型などの違いが分からない。



A：本校の生徒の就労形態には
一般就労……障害者枠で雇用していただきます。障害者手帳が必要です。給料は就労時間によって7万円～10数万程度まで、様々です。
福祉的就労…就労移行支援：2年後には一般就労を目指します。
就労継続支援A型：最低賃金が保証されます。雇用関係を結びます。給料は平均7万円程度です。
就労継続支援B型：緩やかな就労形態です。工賃は平均2万円程度です。
以上のような選択肢があります。現場実習を繰り返して進路先を決めていきます。
進路相談等で活用している就労形態説明表を以下に記載いたします。もし、説明表が欲しいという方は担任、もしくは進路指導部まで問い合わせください。

Q：一般就労には何が必要なのか。



A：就労に必要な力として「日常生活の管理」「コミュニケーション」「基本的な労働習慣」「仕事への態度」「作業力」があげられますが、一番大切なのは、自分の生活習慣（健康管理）がしっかり管理できているか、自分の特性についてしっかり理解できているか（自己理解）ではないかと思います。体は資本。元気に毎日出勤できるようにするために心も体も安定させることが大切です。また、自分の得意不得意について理解できていると、どこで自分が助けを求めればいいのか、自分の力が生かせるのはどんな仕事かが分かります。その力があって、次に大切となってくるのがコミュニケーション等の力だと思います。学校生活で、実習等の機会を通じて、また家庭の力もお借りして、こうした力を培っていきます。

※就労形態説明表

	一般就労	就労継続支援A型	就労移行支援	就労継続支援B型
勤務時間（一例）	8：30～17：15	9：00～14：00	9：00～16：00	9：00～16：00
給料（工賃）	7万円～10数万円程度 （会社によって幅広い）	7万円程度	0円～2万円程度	2万円程度
通勤手段	基本的には自力通勤 （自家用車通勤）		保護者送迎 事業所バス 自力通勤	
休日	会社によってちがう 週2日 がほとんど。シフト制で平日 休みのところもある。	週2日の土日休みがほとんど。しかし、業種によっては、土日ではなく平日休みのところもある。		
サポートしてくれる人	ジョブコーチ（基本は3か月） ふっとわーく 地区相談支援 基幹相談支援 （相談支援専門員）	相談支援専門員 （サービス等利用計画という、それぞれに合ったプランを立て、随時更新しながらサポートしてくれる）		
その他	基本的には最低賃金が保障される。（雇用契約を結ぶ） ★労働保険の加入 雇用保険（1週間20時間以上）、労災保険（全員加入） ★社会保険の加入 健康保険、厚生年金保険（基本的には1週間30時間以上で加入、会社の規模によって違うので、企業に確認が必要）		ステップアップを目指し、2年間仕事の力をつけていく場所。パソコンの勉強するところ、仕事をしながら力をつけていくところ、様々です。	高等部卒業後すぐに利用する場合は、3年生の春の実習で就労アセスメントを行う必要がある。

Q：就労までの流れ、就労後の様子や1日の過ごし方について知りたい。

A：中学部2、3年 事業所体験実習1日

高等部1年 夏休み体験実習→秋の現場実習3週間（学校実習1週間、現場実習2週間）

高等部2年 夏休み体験実習→秋の現場実習3週間

高等部3年 春の現場実習2週間→秋の現場実習3週間

高等部3年の秋の現場実習では、次年度の4月からの生活を見越した実習にできると理想的です。出退勤の仕方、仕事の内容、休憩時間の過ごし方など、細かなところまで確認した上で進路を決定していきます。

一般就労、就労継続支援A型に就労する場合は、ハローワークに登録（求職登録）し、面接等の試験を経て内定が決まり、2月頃に移行支援会議で引継ぎを行います。就労継続支援B型、就労移行支援、生活介護等は2月にサービス調整会議を行ない、引継ぎや4月からの生活について、具体的に話をします。

就労後の先輩たちは、社会人として立派に働いています。企業や事業所での経験を通して、言葉遣いや態度面もより大人になっていきます。ただし、コミュニケーション面や自分が求める仕事内容との相違などで離職した卒業生もいます。そういった方は支援者のサポートを得て求職活動をしていきます。必要な場合は進路ケース会議を行います。

1日の過ごし方は様々ですが、企業ですと8：30～17：00頃まで働きます。ただし、最近では精神障害者雇用への就労促進も進んできており、短時間勤務からスタートし、勤務時間を徐々に伸ばしていくといった雇用形態を認める企業が増えてきています。

A型だと9：00～14：00くらい、B型、就労移行だと9：00～16：00頃まで働く形が多いです。休憩時間は午前、午後ともに1回と昼食休憩1時間程度をとっている所がほとんどです。



Q：卒業生の進路先、仕事内容について知りたい。

A：卒業生の進路先については本当に様々です。年度始めに配付した進路だよりも具体的な事業所や企業が掲載されておりますので、参考になさってください。仕事内容も軽作業、洗濯、清掃作業、製造業、農業、接客、調理、配送、パソコン関係の作業など、たくさんの作業種があります。

例年、本人にどんな仕事に興味があるのかをアンケートや面談で聞き取り、その興味を元に体験実習先を決めるようにしています。



Q：・卒業後、職場以外の人との交流を持てる場が欲しい・・・

・本人のしたいことを聞いて参加できるサークルのような集まりがない。

A：本人の好きな事（スポーツ？絵？写真？とか）から活動の場を上げていくのも一つかもしれません。余暇活動は働く場と同じくらい大切です。進路相談、教育相談等でも話題にしている項目です。本人に合う場所を一緒に考えていきましょう。ふくいスポーツクラブ、あとリエ風（絵画教室）などは本校ともつながりのある場所で、卒業生も多数利用しています。

コムサポートプロジェクトという障害をもった方の自立をサポートするNPO法人があります。その法人が行っている「いこっさ、やろっさ」というプロジェクトは、本人のやりたいことを支援者と一緒に実現するというもので、友達と一緒に利用も可能のようです。トンネルが好きな方が、自分の見に行きたいトンネルの開通式に行き、トンネル内を歩くという楽しみを実現したという話を聞き、素敵なお取り組みだと個人的に感じました。今はコロナ禍で活動自粛されているようですが、このようなプロジェクトを活用するのも一つかもしれません。



Q：この先どうなるのだろう？この先生きていけるか？と不安になる。親がしてあげられるうちはいいが、兄弟に丸ごと背負わせることはしたくないと考えている。

A：進路相談や教育相談等の機会に、相談支援専門員さん、放課後等デイサービスの職員さん、教員等、本人に関わる支援者みなで、今の本人の姿、少し先の姿、もう少し先の将来の姿をイメージしながら、具体的に今何をしておくか、親亡き後はどうしていくかなど語り合うことが大切ではないかと考えます。本校では中学部2年生から進路相談を行いますので、実習のこと、医療に関すること、余暇に関する事など、将来の生活に必要な事柄について確認しています。遠い将来のことはイメージできないと思われるかもしれませんが、少しずつ話をしておくことは大切だと捉えています。御家族だけで抱え込むことなく、福祉サービスの力も借りながら支援をすすめられると良いと思います。



Q：グループホームに空きがないと言われているが、突然の事態の場合、独りぼっちになってしまうのか。

A：グループホームになかなか空きがないのは現実のようです。その影響もあり、他事業所利用の方の受け入れ（グループホームを持っていない事業所で日中活動を送っていて、帰宅後グループホームの利用を希望されるような場合）についても、どうしても後回しになってしまうという現状もあるようです。しかし、緊急事態の際、独りぼっちになるかという、そうではなくて、自治体によっては、緊急時の受け入れ態勢として、月ごとに担当事業所を決め、短期入所で空いている部屋を利用するというような対応策をとっているようです。大切なことは普段から支援者である事業所の方、相談支援専門員の方、近所の方などと普段からコミュニケーションをとり、何かの時に動いてくださる体制を整えておくことではないかと思えます。



Q：何か問題があったときに相談できるように体制を整えていきたい。

A：相談支援専門員：福祉サービス利用（放課後等デイサービス、就労サービス、短期入所、居宅介護など）の際、サービス等利用計画を作成する。支援の核となる方。
地区相談支援：福井市、坂井市ともに相談支援専門員がついていない方への相談支援窓口として地区相談支援があります。詳しい内容は進路の手引きを参照ください。
福井障がい者職業センター：卒業後のジョブコーチ支援、職業準備支援（卒業後 再就職の支援、退職後の支援）
ふっとわーく：卒業後の就業及び生活の相談支援
その他にも行政、ハローワークなど、困った時に相談できる機関は充実しています。学校でも移行支援をしていきますが、相談機関とこまめにコミュニケーションをとり、課題を共有しておくことが大切だと思います。



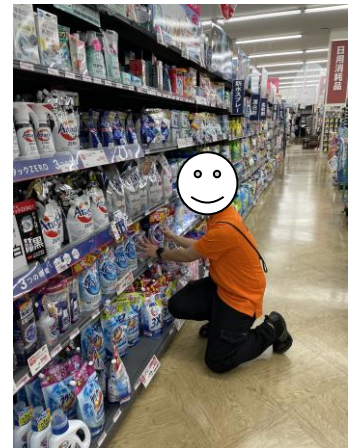
～先輩を訪ねて～



5月20日(木)に、高等部で「先輩を訪ねて」がありました。例年はクラスの先輩の職場を訪問し、インタビューをしたり、仕事の様子を見学したりしているのですが、今年度はコロナ禍のため、事前取材やオンラインでのインタビューを行いました。卒業して2ヶ月弱ですが、社会人らしく落ち着いて仕事に取り組み、自分の仕事に誇りを持ち頑張る様子がうかがえました。

宮澤先輩 『ホームセンターヤスサキ』を訪ねて

「ホームセンター ヤスサキ」に就労した宮澤 翔さんに高等部A組の生徒が、インタビューしました。「ホームセンター ヤスサキ」は一般就労で宮澤さんは障害者雇用枠で働いています。日用品コーナーの品出し、前出し、切り売りなどを行っています。失敗をしたらまず謝ることを心がけ、その後は「もう失敗をしないぞ!」という気持ちで仕事をしているということを後輩に伝えてくれました。

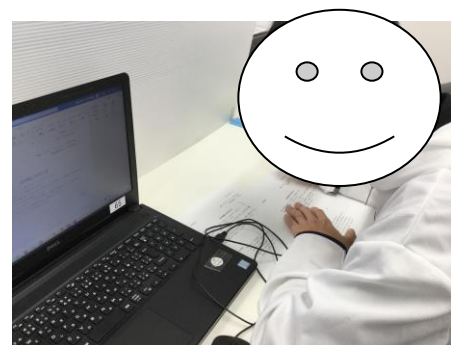


《インタビュー》◎宮澤 翔さん

- ◆ Q. 仕事で大変なことは何ですか? → 特にはないです。
(接客、体を動かすことが自分に合っているから)
- ◆ Q. 仕事と実習はどう違いますか? → お給料をもらえることです。
自分の行動に責任が求められることです。
- ◆ Q. 休みの日は何をしていますか? → いつも通り朝起きて普段見れないテレビを見ています。
(接客業なのでコロナが落ち着くまでは外出はしません)
- ◆ Q. 給料はどうやってもらっていますか? → 自分の口座に振り込まれます。
(携帯代、家族に渡すお金、お小遣い、貯金)
- ◆ Q. ここで働いてよかったですか? → もちろんです!!

佐々木先輩 『前進主義 ふくい』を訪ねて

高等部B組の生徒が、佐々木 翔さんにオンラインでインタビューをしました。「前進主義 ふくい」は就労移行支援事業所で一般就労を目指して2年間、就労に必要な知識やスキル向上のためのサポートを受けることができます。佐々木さんはそこで、ワープロ検定の勉強やビジネスマナーなどを学んでいます。前期・中期・後期課程があり、今は前期課程で頑張っているそうです。先輩の桂 優太郎さんは中期課程に上がって頑張っています。佐々木さんは、「自分も早くステップアップし、就労継続支援A型事業所での就労や一般就労をねらっていき」と目標を持って頑張っていることを話してくれました。



《インタビュー》◎佐々木 翔さん

- ◆Q. なぜ就労移行支援事業所にしましたか？ →「自分に合った仕事を見つけてくれるから」「力を付けたいから」です。
- ◆Q. 仕事が滞った時はどうしますか？ →職員さんに相談します。
- ◆Q. 叱られたときの対処方法を教えてください。 →叱られることはないです。注意されても前向きに考えるようにしています。
- ◆Q. 通勤の仕方を教えてください。 →えち鉄と事業所バスで通勤しています。（通勤費は5000円出ています。）
- ◆Q. 昼食はどうしていますか？ →昼食はお弁当で1日24円。

大門先輩『ほのぼののハーツ 福井事業所』を訪ねて

高等部B組の生徒が、大門 竜也さんにオンラインでインタビューをしました。「ほのぼののハーツ 福井事業所」は就労継続支援A型事業所です。大門さんは、生協のチラシをセットする仕事をしています。「作ったチラシが、自分の家にも届くのでうれしい」と話していました。自分のした仕事がみんなの家庭に届くと思うとやりがいを持ってると笑顔で語ってくれました。



《インタビュー》◎大門 竜也さん

- ◆Q. 給料はいくらくらいもらっていますか？ →5万円くらいです。
- ◆Q. 勤務時間は？ →8：30～16：00まで。
- ◆Q. いっぱい給料をためたらどこに行きたいですか？ →北海道に行きたいです。

小寺先輩『足羽サポートセンター』を訪ねて

高等部C組の生徒が、小寺 透和さんにオンラインでインタビューしました。「足羽サポートセンター」は就労継続支援B型事業所で、袋詰めやテープ貼り等の仕事をしています。「仕事は楽しいです」と胸を張って答える姿は頼もしかったです。事業所のバスを利用したりお弁当を食べたりと卒業新しいことにチャレンジし自信を付けている姿がうかがえました。



《インタビュー》◎小寺 透和さん

- ◆ Q. 好きな仕事をしていますか？→袋詰めのお仕事です。
- ◆ Q. 大変なことはなんですか？ →長い時間仕事をするのが大変です。
9：00～15：00まで仕事をするので大変です。
- ◆ Q. お給料で何を買いますか？ →ゲームやパソコンがほしいです。
- ◆ Q. どうやって行ってますか？→行きはバスで行っています。帰りは車で帰っています。
- ◆ Q. 休憩は何をしていますか？→お茶を飲んでます。

《高等部生徒の感想》

- 自分に合っている仕事や楽しさを見つけていることがすごいと思った。
- 先輩ががんばっている姿を見れて、聞けてよかった。
- 来年は自分が答える側になるんだなと思った。先輩を見習って頑張りたい。
- 一番大変そうだと感じたのは長い時間働くことです。自分ができるか心配。
- 働いたお金で友達とお酒やご飯に行くことが楽しみです。
- 就労移行のいい点を再確認できた。自分に合った仕事を見つけてくれたり力を付けられたりできるなら、僕も18歳での一般就労が難しかったら就労移行もありだと思いました。
- 私もお給料をもらうために頑張りたいと思いました。



事業所情報

わーく on ここね(就労継続支援B型)

利用者さんと一緒に、居心地のいい空間を、活動内容を決めていきたいという理念を大切にしている温かな事業所です。
7月1日から新しい場所へ移転して作業空間も広くなり、ゆったりと過ごせる予定だという事でした。



所在地：〒918-8058 福井市加茂緑苑町411番地 (福井市加茂緑苑町406番地から7月1日より移転)

電話番号：0776-32-6775

開所日：月～金曜日、土曜日も開所している日がある。(土曜日は2時間の開所)

定員：20名、現在在籍11名 (R3.6.22現在) 20歳代～60歳代の方

1日の流れ

- 9:25～9:30 朝礼・作業準備
- 9:30～10:40 作業①
- 10:40～10:45 休憩
- 10:45～11:55 作業②
- 11:55～12:40 昼休憩 (お弁当1食440円) 利用者になれば、食事加算あり
- 12:40～12:45 後片付け・作業準備
- 12:45～13:50 作業③
- 13:50～13:55 休憩
- 13:55～15:00 作業④
- 15:00～15:10 後片付け・清掃・終礼



LEDライトの点検



自社製品

開発中
紐を編んで
作るバッグ



リボンの仕分け



自社製品

開発中
猫チグラ・・・猫用の寝床

仕事内容

布たたみ、小物仕分け、箱折り(ネコポス)、検品、小物づくり(アクセサリー作り)等軽作業
自社製品を開発中(猫チグラ、紐バッグなど)、農作業も作業に取り入れていく予定

工賃

時給200円
1か月平均19000円程度+皆勤賞2000円

みんなで海へ



コスモス畑へ



その他

送迎は要相談。実習でも送迎バスの利用については相談にのる。
1か月に1回レクリエーション活動をする。皆で話し合っ決めて外出活動をする。

事業所のうり

アットホームな雰囲気がある。
まだ新しい事業所なので利用者さんと活動を手探りしながら作っている。利用者さんの様子を見たり、コミュニケーションをとったりしながら、職員と利用者さんと一緒に活動を作っていきたいとのこと。

こんな人、求めています。

持続性・素直さを持ち合わせている人
若いパワー

WALLESS AcAdemy(ウォレスアカデミー)【放課後等デイサービス】

昨年の4月に立ち上がった事業所ですが、すでに県内の様々な場所から130名ものお子さんが通われているそうです。

「困っている子ども」に寄り添い、どこで困っているかを見極めて、将来に必要な力を一緒に考えていきます。大きな特徴としては、「スタッフとマンツーマン」であることや「個室・完全予約制(週1回50分)」であること、「社会生活や将来の職業選択に必要な力を支援する」ということが挙げられます。

現在、通われているのは地域の学校の通常学級や支援学級に在籍しているお子さんがほとんどとのことで、幼児から高校生まで受け入れているそうですが、小学校高学年から中学生のお子さんが一番多いそうです。特に発達障害の方が多く、コミュニケーション、文字の読み書きに困難さを感じている方や二次障害で不登校の状態の方が通われているそうです。

1人1人のお子さんが何に困っているかを把握し、それぞれに合わせた内容で50分を設定します。「楽しいこと」20分・「がんばりたいこと」20分・「苦手なこと」10分。その中で自己肯定感、達成感が味わえるように活動を組み立てているそうです。

今回、取材に応じてくださった取締役であり管理者である永田弘幸さん。「ここに来る子どもたちが困っていることの原因を見つけて解決してあげたい」という熱い思いが伝わってくるお話をたくさん聞かせてくださいました。詳細をお知りになりたい方は、下記の連絡先にお電話にてお問合せ・ご相談ください。

住所:〒910-0005 福井市大手3-1-15ピアンモア大手ビル8階

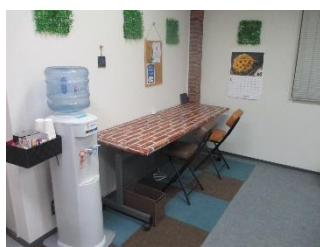
電話:0776-50-3623



個室は机、いす、ホワイトボードがあるのみ。



至る所に永田さんのDIY作品や植物が置かれ温かい雰囲気の室内でした。



待合室は宿題をしったり、絵本を読んだりできる場所があります。